

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

担当より一言

今回は「空気の性質」について学びました。

化学の単元がここから本格的にはじまります。今までは目に見えるものを扱ってきましたが、目に見えないものを扱っていくことになり、中々イメージのわきにくい分野かもしれません。知らなかったことも多い単元だったと思いますので、一度テキストを必ず読んでから、宿題に取り掛かるようにしましょう。

まずは、空気中に含まれる気体について、割合の多い順に4種類の名前を必ずおさえてください。窒素が約78%、酸素が約21%、アルゴンが約0.93%、二酸化炭素が約0.04%です。アルゴン以外の気体の割合は問題でもよく問われますので数字を覚えておきましょう。

また、空気は押しちぢめられること、水は押しちぢめられないことは、注射器のピストンの図を確認しながら整理しておいてください。

※G模試の範囲は、第13回～第19回の内容となります。

※夏期講習中は、各回確認テストを行います。週テスト同様、前回内容を確認するテストになります。形式も週テストと同様ですので、前回内容の宿題に取り組んだ上で確認テストにのぞみましょう。

夏期講習初回の第20回実施の確認テストの範囲は、第19回内容になります。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストで、「授業中に扱った演習問題」の復習用を解き直す	
② 宿題用テキストの基本問題 A・B を解く	
③ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	
② 宿題用テキストで、「授業中に扱っていない演習問題」を解く	

担当より一言

G 模試前の演習回で、すべての都道府県を見直す回でした。

範囲が広がったこともあって、難しいと感じた人もいないでしょうか。できなかったと感じた地方や内容がある人は、G 模試に向けて、これまでの授業用の教材で確認しておきましょう。とくに都道府県の位置や、都道府県名を漢字で書くところをつまづいた人は、早めに覚え直してください。

授業では、原則演習問題の A か B を扱っています。もし時間があるなら、授業で扱わなかった演習問題にも取り組んでみましょう。G 模試に向けた準備になります。

※G 模試の範囲は、第 13 回～第 19 回の内容となります。

※夏期講習中は、各回確認テストを行います。週テスト同様、前回内容を確認するテストになります。形式も週テストと同様ですので、前回内容の宿題に取り組んだ上で確認テストにのぞみましょう。

夏期講習初回の第 20 回実施の確認テストの範囲は、第 19 回内容になります。